

平成24年度 国立江田島青少年交流の家 教育事業

# 『子育てパパとママのお泊り井戸端会議』報告書

## ～一泊二日のリフレッシュプロジェクト～

### 【趣 旨】

親子での多様な体験活動の機会を提供することや「親の力」を学びあうことにより、幼児期における体験活動の必要性を保護者に理解してもらう。また、核家族化等により孤立しがちな親が気軽に相談しあえるネットワークを構築する。さらには、施設を利用している青少年との交流を図ることで、将来の親となる若者に親子の絆や子育ての素晴らしさを伝えていく。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【協 力】 ①江田島市子育て支援センター  
②広島県立福山少年自然の家

【期 日】 ①平成24年7月7日（土）～8日（日）  
②平成25年3月2日（土）～3日（日）

【会 場】 ①国立江田島青少年交流の家  
②広島県立福山少年自然の家



【対 象】 子育て中のパパとママ及び幼児（未就学児）  
（パパのみママのみの参加も可，兄弟姉妹の同伴可）

【参加者数】 ①11家族 40人  
② 9家族 30人

### 【企画・運営のポイント】

#### （1）親子で体験できるプログラムの設定

流しそうめんや七夕のように季節を感じることができるものや、カヌーや追跡ハイクのように施設の特徴を生かしたものなどを取り入れながら、親子で一緒に活動できるプログラムを設定した。



#### （2）情報交換の場，井戸端会議の実施

親がリフレッシュできるよう、そして、ネットワークを作ることができるように井戸端会議を実施した。その際、親同士が安心して話ができるよう、親の目の届く場所で、ボランティアが安全に気を配りながら子どもたちと七夕飾りを作ったり、積み木遊びをしたり、読み聞かせをしたり塗り絵をしたりした。



(3) 普及する公立青少年教育施設を会場として実施

来年度からこの事業を広島県立福山少年自然の家（以下福山少年自然の家という。）で実施するために、2回目を福山少年自然の家を会場として行った。全体の運営は、国立江田島青少年交流の家職員が行い、福山少年自然の家の人気プログラムである「ピザ作り」「追跡ハイク」のプログラムの準備・説明・進行等は、福山少年自然の家の職員が担当し、協力して事業を実施した。





(4) 青少年に対する親への準備教育（施設を活用する学生との交流プログラムの実施）

青年ボランティアが、直接家族の会話や様子をみることができるよう1回目の流しそうめん、2回目のピザ作りの運営補助を担当した。また、小さな子どもに関わる楽しさや大変さを体験できるように、親プログラムの「井戸端会議」の側で、子どもプログラムの「七夕飾り作り」や「1万個の積み木あそび」を運営した。

【活動の実際】

(1) 平成24年7月7日（土）～8日（日）

7 / 7 (土)	14:00	集合・受付（玄関ホール）	
	14:15～	施設利用案内	
	15:00～	「はじめまして！～アイスフレイク～」	
	16:00～	「親子で作ろう三角おにぎり！ わいわい食べよう流しそうめん！！」	
	18:30～	入浴	
	19:30～	「パパとママの井戸端会議」（もちろん、お酒も飲めます） 「星に願いを～七夕～」	
	21:00～	就寝準備	

7 / 8 (日)	6:00	起床	
	6:20～	「パパと早起きして、カスタムシャクワガタを探しにレッツゴー！」	
	7:10～	朝のつどい、清掃	
	7:50～	朝食（バイキング）	
	9:30～	「プライベートビーチでカヌー体験や砂遊び！」	
	12:00～	昼食（バイキング）	
	13:30～	退所準備	
	14:00～	また、逢えるといいね！～ふりかえり～	
	14:50	解散	

(2) 平成25年3月2日(土)～3日(日)

3 / 2 (土)	13:00～	集合・受付(玄関ホール)
	13:30～	施設利用案内 「はじめまして!アイスブレイク～あたたかい雰囲気づくり～」
	14:30～	「親子でクッキング～うーんポーノ!」 <b>ピザ作り</b>
	18:00～	入浴
	19:30～	「パパとママの井戸端会議」(もちろん、お酒も飲めます) 「1万個の積み木あそび」(子ども達)
	21:00～	就寝準備



3 / 3 (日)	6:40	起床, 清掃(退所準備, シーツの返却)
	7:40～	朝のつどい
	8:00～	朝食
	8:50～	退所確認(荷物移動)
	9:30～	「TSUISEKI～アニメキャラクターをさがせ!」
	12:00～	昼食
	13:00～	また、逢えるといいね!～ふりかえり～
	14:00	解散



### 【成果】

- (1) 事後アンケートの結果、この事業の参加者の満足度は、1回目も2回目も100パーセントであり、「家族で楽しめる素敵なプログラムでした。」「自然の中で家族でとても楽しめました。」という感想が聞かれ、親子が一緒に楽しく体験活動を行うことができた。
- (2) 「井戸端会議で他の親の話聞いて共感したり自分の話をしたりするだけでとてもよかったです。」「子育ては、期間限定。楽しむ子育てをしていこうと思いました。」等の感想があり、井戸端会議が、親の情報交換の場として有効であった。
- (3) 福山少年自然の家職員には、この事業の運営の仕方や幼児を連れた参加者への対応の仕方を実際に体験し、理解してもらうことができた。  
福山少年自然の家の職員から、「幼児のいる親子を受け入れるのは、初めてのことで大変であったが、参加者に喜んでいただきうれしかった。今回の反省をもとに来年度からがんばって実施したい。」という感想が聞かれた。そして、事後のアンケートや参加者のつぶやき等から、この事業の改善点や参加者に対するよりよい対応について知ることができ、来年度の事業の企画や運営の参考としてもらえた。
- (4) 参加した青年ボランティアからは、「自分も結婚して子どもが産まれたら、一緒にいろいろな体験を楽しみたい。」「小さな子どもを相手にするのは、大変だけれど楽しかった。またお手伝いしたい。」という感想が聞かれ、親子の絆や子育ての素晴らしさを感じることができたようである。

### 【来年度に向けて】

- この事業は、福山少年自然の家主催として平成25年10月と平成26年3月に実施される予定である。